

平成 2 5 年度

決 算

貸借対照表

正味財産増減計算書

キャッシュ・フロー計算書

附属明細書

財産目録

(監査報告書添付)

公益財団法人新国立劇場運営財団

目 次

1．	貸借対照表	P.3
2．	正味財産増減計算書	P.4
3．	正味財産増減計算書内訳表	P.5
4．	キャッシュ・フロー計算書	P.6
5．	財務諸表に対する注記	P.7
6．	附属明細書	P.9
7．	財産目録	P.10
8．	会計監査報告書	P.11
9．	監査報告書	P.13

貸 借 対 照 表

平成26年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,008,991,589	1,143,097,754	△ 134,106,165
未収収益	319,470	1,162,015	△ 842,545
未収金	552,882,924	186,587,136	366,295,788
棚卸資産	126,247,518	78,120,635	48,126,883
仮払金	5,925,750	5,001,350	924,400
立替金	485,155	296,631	188,524
前払金	51,311,476	22,133,072	29,178,404
前払費用	15,902,676	15,949,711	△ 47,035
流動資産合計	1,762,066,558	1,452,348,304	309,718,254
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
現金預金	100,300,000	100,300,000	0
基本財産合計	100,300,000	100,300,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当特定預金	364,211,408	577,453,791	△ 213,242,383
退職給付引当特定有価証券	200,000,000	0	200,000,000
公演事業等損失特定預金	500,000,000	500,000,000	0
特定資産合計	1,064,211,408	1,077,453,791	△ 13,242,383
固定資産合計	1,164,511,408	1,177,753,791	△ 13,242,383
資産合計	2,926,577,966	2,630,102,095	296,475,871
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	545,081,590	624,460,011	△ 79,378,421
前受金	713,256,270	294,941,912	418,314,358
預り金	24,116,817	34,504,775	△ 10,387,958
賞与引当金	75,268,021	69,684,443	5,583,578
流動負債合計	1,357,722,698	1,023,591,141	334,131,557
2. 固定負債			
退職給付引当金	881,729,600	848,358,800	33,370,800
固定負債合計	881,729,600	848,358,800	33,370,800
負債合計	2,239,452,298	1,871,949,941	367,502,357
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	100,300,000	100,300,000	0
(うち基本財産への充当額)	(100,300,000)	(100,300,000)	0)
2. 一般正味財産	586,825,668	657,852,154	△ 71,026,486
(うち特定資産への充当額)	(500,000,000)	(500,000,000)	0)
正味財産合計	687,125,668	758,152,154	△ 71,026,486
負債及び正味財産合計	2,926,577,966	2,630,102,095	296,475,871

正味財産増減計算書

自 平成25年 4月 1日

至 平成26年 3月31日

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	88,010	87,653	357
雑収益	1,597,290	1,548,572	48,718
受取寄附金等	286,100,722	293,740,000	△ 7,639,278
受託収益	3,778,596,000	3,977,840,000	△ 199,244,000
研修事業等収益	74,334,066	73,238,222	1,095,844
公演事業収益	1,763,274,782	1,971,929,061	△ 208,654,279
施設使用料収益	199,795,087	183,655,527	16,139,560
受託事業収益	192,865,000	233,951,046	△ 41,086,046
附帯事業収益	1,191,089	756,064	435,025
協賛金収益	81,054,229	96,940,000	△ 15,885,771
経常収益計	6,378,896,275	6,833,686,145	△ 454,789,870
(2) 経常費用			
事業費	6,158,264,086	6,328,945,900	△ 170,681,814
役員報酬	46,177,799	47,509,225	△ 1,331,426
給料手当	833,669,165	825,357,911	8,311,254
福利厚生費	161,165,179	162,222,703	△ 1,057,524
一般管理費	1,195,304,832	1,218,918,325	△ 23,613,493
交流・研修費	241,138,913	241,919,112	△ 780,199
施設維持管理費	901,303,728	920,570,626	△ 19,266,898
公演事業費	2,745,730,908	2,884,097,821	△ 138,366,913
附帯事業費	33,743,528	28,117,967	5,625,561
事業外支出	30,034	232,210	△ 202,176
管理費	292,147,977	325,965,849	△ 33,817,872
役員報酬	5,307,356	7,303,380	△ 1,996,024
給料手当	112,557,951	116,387,713	△ 3,829,762
福利厚生費	22,341,999	22,330,998	11,001
退職給付費用	74,778,200	90,276,200	△ 15,498,000
一般管理費	60,543,692	71,009,096	△ 10,465,404
施設維持管理費	16,148,779	18,188,462	△ 2,039,683
交際費	470,000	470,000	0
経常費用計	6,450,412,063	6,654,911,749	△ 204,499,686
当期経常増減額	△ 71,515,788	178,774,396	△ 250,290,184
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	1,438,864	0	1,438,864
公演中止損害賠償金	1,438,864		1,438,864
(2) 経常外費用	949,562	0	949,562
公演中止追加費用	949,562		949,562
当期経常外増減額	489,302	0	489,302
当期一般正味財産増減額	△ 71,026,486	178,774,396	△ 249,800,882
一般正味財産期首残高	657,852,154	479,077,758	178,774,396
一般正味財産期末残高	586,825,668	657,852,154	△ 71,026,486
II 指定正味財産増減の部			0
基本財産運用益	88,010	87,653	357
一般正味財産への振替額	△ 88,010	△ 87,653	△ 357
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,300,000	100,300,000	0
指定正味財産期末残高	100,300,000	100,300,000	0
III 正味財産期末残高	687,125,668	758,152,154	△ 71,026,486

正味財産増減計算書内訳表
平成25年4月1日から平成26年3月31日

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引 消去	合計
	公演事業	公演関連収益事業			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益			88,010		88,010
雑収益	621,863		975,427		1,597,290
寄附金等収益	275,169,228		10,931,494		286,100,722
賛助金収益	265,678,506		10,931,494		276,610,000
寄附金収益	9,490,722				9,490,722
受託収益	3,523,923,361	21,765,900	232,906,739		3,778,596,000
管理受託収益	3,257,923,361	21,765,900	232,906,739		3,512,596,000
公演受託収益	266,000,000				266,000,000
研修事業等収益	74,334,066				74,334,066
公演事業収益	1,755,084,834	8,189,948			1,763,274,782
劇場入場料収益	1,467,910,489				1,467,910,489
外部公演収益	184,074,888				184,074,888
公演附帯収益	92,266,957	8,189,948			100,456,905
中継放送収益	10,832,500				10,832,500
施設使用料収益	188,931,600	10,863,487			199,795,087
受託事業収益	192,865,000				192,865,000
附帯事業収益	1,191,089				1,191,089
協賛金収益	81,054,229				81,054,229
経常収益計	6,093,175,270	40,819,335	244,901,670	0	6,378,896,275
(2) 経常費用					
事業費	6,117,882,241	40,381,845			6,158,264,086
役員報酬	45,785,254	392,545			46,177,799
給料手当	827,248,001	6,421,164			833,669,165
福利厚生費	159,889,804	1,275,375			161,165,179
一般管理費	1,183,687,841	11,616,991			1,195,304,832
交流・研修費	241,138,913				241,138,913
施設維持管理費	890,441,000	10,862,728			901,303,728
公演事業費	2,735,917,866	9,813,042			2,745,730,908
附帯事業費	33,743,528				33,743,528
事業外支出	30,034				30,034
管理費			292,147,977		292,147,977
役員報酬			5,307,356		5,307,356
給料手当			112,557,951		112,557,951
福利厚生費			22,341,999		22,341,999
退職給付費用			74,778,200		74,778,200
一般管理費			60,543,692		60,543,692
施設維持管理費			16,148,779		16,148,779
交際費			470,000		470,000
経常費用計	6,117,882,241	40,381,845	292,147,977	0	6,450,412,063
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 24,706,971	437,490	△ 47,246,307	0	△ 71,515,788
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 24,706,971	437,490	△ 47,246,307	0	△ 71,515,788
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益	1,438,864				1,438,864
経常外収益計	1,438,864	0	0	0	1,438,864
(2) 経常外費用					
経常外費用	949,562				949,562
経常外費用支出計	949,562	0	0	0	949,562
当期経常外増減額	489,302	0	0	0	489,302
他会計振替額	218,745	△ 218,745	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 23,998,924	218,745	△ 47,246,307	0	△ 71,026,486
一般正味財産期首残高					657,852,154
一般正味財産期末残高					586,825,668
II 指定正味財産増減の部					
基本財産運用益			88,010		88,010
一般正味財産への振替額			△ 88,010		△ 88,010
当期指定正味財産増減額			0		0
指定正味財産期首残高			100,300,000		100,300,000
指定正味財産期末残高			100,300,000		100,300,000
III 正味財産期末残高					687,125,668

キャッシュ・フロー計算書

自 平成25年 4月 1日

至 平成26年 3月31日

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 事業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 当期一般正味財産増減額	△ 71,026,486	178,774,396	△ 249,800,882
2. キャッシュ・フローへの調整額			0
①基本財産の増減額	0	0	0
②未収金の増減額	△ 366,295,788	△ 88,091,800	△ 278,203,988
③棚卸資産の増減額	△ 48,126,883	46,447,708	△ 94,574,591
④その他資産の増減額	△ 29,401,748	5,453,953	△ 34,855,701
⑤退職給付引当金の増減額	33,370,800	55,577,000	△ 22,206,200
⑥賞与引当金の増減額	5,583,578	3,839,431	1,744,147
⑦未払金の増減額	△ 79,378,421	△ 39,888,284	△ 39,490,137
⑧前受金の増減額	418,314,358	△ 60,837,600	479,151,958
⑨その他負債の増減額	△ 10,387,958	△ 941,169	△ 9,446,789
⑩指定正味財産からの振替額	△ 88,010	△ 87,653	△ 357
小計	△ 76,410,072	△ 78,528,414	2,118,342
3. 指定正味財産増加収入			
指定正味財産運用益	88,010	87,653	357
事業活動によるキャッシュ・フロー	△ 147,348,548	100,333,635	△ 247,682,183
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 投資活動収入			
定期預金の取崩収入	0	163,716,779	△ 163,716,779
退職給付引当特定預金の取崩収入	241,467,673	34,699,200	206,768,473
2. 投資活動支出			
退職給付引当特定預金の繰入支出	28,225,290	98,985,278	△ 70,759,988
退職給付特定有価証券取得支出	200,000,000	0	200,000,000
公演事業等損失特定預金の繰入支出	0	163,716,779	△ 163,716,779
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,242,383	△ 64,286,078	77,528,461
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 財務活動収入	0	0	0
2. 財務活動支出	0	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	0	0
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0
V 現金及び現金同等物の増減額	△ 134,106,165	36,047,557	△ 170,153,722
VI 現金及び現金同等物期首残高	1,131,097,754	1,095,050,197	36,047,557
VII 現金及び現金同等物期末残高	996,991,589	1,131,097,754	△ 134,106,165

(注) 資金の範囲 資金の範囲には、現金及び現金同等物を含めている。

(注) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲載されている科目との関係

	当年度	前年度
現金預金	1,008,991,589	1,143,097,754
預入期間が3カ月を超える定期預金	△ 12,000,000	△ 12,000,000
現金及び現金同等物	996,991,589	1,131,097,754

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の有価証券の評価は償却原価法を適用している。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
商品、公演制作費等の仕掛品及び貯蔵品は、棚卸資産に含めている。
商品：先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）
仕掛品：個別原価法
貯蔵品：最終仕入原価法
- (3) 引当金の計上基準
ア 貸倒引当金
債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。
なお、該当事項はありません。
イ 賞与引当金
役職員に対する賞与等の支給に備えるため、支給見込額の当期対応分を計上している。
ウ 退職給付引当金
役職員の退職給付に備えるため、役職員が自己都合で退職した場合の期末要支給額に相当する金額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2 会計方針の変更

表示方法の変更

（貸借対照表関係）

従来、公演チケットの前受金の表示はカード会社等からの現金等の受領額の純額で表示していたが、当期より、カード会社等との未収金をより明確にする観点から、カード会社等から期末日以降に入金される前受金と未収金について総額表示をすることとした。
これにより、従来の処理に比べ、当期の未収金と前受金はそれぞれ 268,230,231円増加している。
なお、同様の処理を行っていた場合、前期の未収金と前受金はそれぞれ 237,927,135円増加することになる。
この変更により、正味財産増減計算書に与える影響はありません。

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
現金預金	100,300,000	88,010	88,010	100,300,000
特定資産				
退職給付引当特定預金	577,453,791	28,225,290	241,467,673	364,211,408
退職給付引当特定有価証券	0	200,000,000	0	200,000,000
公演事業等損失特定預金	500,000,000	0	0	500,000,000
合 計	1,177,753,791	228,313,300	241,555,683	1,164,511,408

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
現金預金	100,300,000	（ 100,300,000 ）	（ 0 ）	—
特定資産				
退職給付引当特定預金	364,211,408	—	—	（ 364,211,408 ）
退職給付引当特定有価証券	200,000,000	—	—	（ 200,000,000 ）
公演事業等損失特定預金	500,000,000	—	（ 500,000,000 ）	—
合 計	1,164,511,408	（ 100,300,000 ）	（ 500,000,000 ）	（ 564,211,408 ）

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

（単位：円）

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
国債（5年）第116回	200,000,000	200,140,000	140,000
合 計	200,000,000	200,140,000	140,000

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息を通常の事業に充てるための振替額	88,010
合 計	88,010

7 関連当事者との取引の内容

(1) 主要な受託先法人

法人等の名称		独立行政法人日本芸術文化振興会	
住 所		東京都千代田区隼町4－1	
資産総額		233,415,691千円	
事業の内容		芸術文化の振興	
議決権の所有割合		無し	
関係内容	役員の兼務等	無し	
	事業上の関係	役務の提供	
取引の内容		新国立劇場において行われる現代舞台芸術に係る業務及び劇場の管理運営（業務委託契約）	
取引金額		3,778,596千円	－
科 目		受託収益	預り金
期末残高		－	74千円

(2) 役員及びその近親者

該当ありません。

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているので省略。

2 引当金の明細

引当金の明細は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	69,684,443	75,268,021	69,684,443		75,268,021
退職給付引当金	848,358,800	74,778,200	41,407,400		881,729,600

(注) 役員特別手当に係る引当金についても賞与引当金に含めて計上している。

(注) 役員退職慰労金に係る引当金についても退職給付引当金に含めて計上している。

財 産 目 録

平成26年3月31日現在

(単位：円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金 額
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			1,008,991,589
現金手許有高			3,990,832
普通預金			964,781,464
	三井住友銀行東京公務部	運転資金として	635,108,745
	三井住友銀行本店営業部	〃	213,828,165
	三菱UFJ信託銀行新宿支店	〃	7,622,908
	三菱東京UFJ銀行西新宿支店	〃	52,198,593
	三菱東京UFJ銀行新宿西支店	〃	3,096,088
	みずほ銀行新宿新都心支店	〃	28,148,586
	りそな銀行新都心営業部	〃	6,648,204
	八千代銀行代々木支店	〃	18,130,175
定期預金	三井住友銀行東京公務部	〃	12,000,000
郵便貯金	ゆうちょ銀行	〃	28,219,293
未収収益	定期預金利息	事業活動に伴う短期債権	319,470
未収金	入場料収入等	〃	552,882,924
棚卸資産			126,247,518
貯蔵品	Suica、切手等	事業活動に伴う貯蔵品	1,008,077
商品（公益事業）	書籍	公演事業活動に伴う商品	2,100,000
商品（収益事業）	グッズ販売用	収益等事業活動に伴う商品	477,073
仕掛品	前払公演制作費等	公演事業活動に伴う仕掛品	122,662,368
仮払金	印紙税（納付計器）費等	事業活動に伴う仮払金	5,925,750
立替金	電気料金等	事業活動に伴う立替金	485,155
前払金	各種年会費等	事業活動に伴う前払金	51,311,476
前払費用	未経過保険料	事業活動に伴う前払費用	15,902,676
流動資産合計			1,762,066,558
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金		法人の管理運営に用いる財産であり、運用益は法人会計に使用している。	100,300,000
	三井住友銀行東京公務部		25,300,000
	三菱東京UFJ銀行新宿西支店		41,000,000
	みずほ銀行新宿新都心支店		34,000,000
基本財産合計			100,300,000
(2) 特定資産			
退職給付引当特定預金		退職給付引当金見合の財産	364,211,408
普通預金	三井住友銀行東京公務部		164,211,408
譲渡性預金	三井住友銀行東京公務部		200,000,000
退職給付引当特定有価証券		退職給付引当金見合の財産	200,000,000
国債	SMBC日興証券		200,000,000
公演事業等損失特定預金		公益目的事業財産であり、運用益は公益目的事業に使用している。	500,000,000
普通預金	三井住友銀行東京公務部		200,000,000
譲渡性預金	三井住友銀行東京公務部		300,000,000
特定資産合計			1,064,211,408
固定資産合計			1,164,511,408
資産合計			2,926,577,966
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	物品購入費、役務提供費等	事業活動に伴う短期債務	545,081,590
前受金	前受入場料等	事業活動に伴う前受金	713,256,270
預り金	源泉所得税等	事業活動に伴う預り金	24,116,817
賞与引当金		賞与見込額のうち当期分	75,268,021
流動負債合計			1,357,722,698
2. 固定負債			
退職給付引当金		役職員に対する退職金の支払いに備え管理しているもの。	881,729,600
固定負債合計			881,729,600
負債合計			2,239,452,298
正味財産			687,125,668

独立監査人の監査報告書

平成 26 年 5 月 28 日

公益財団法人新国立劇場運営財団
理事会 御中

公認会計士小森輝於事務所

公認会計士

小森輝於 

田中公認会計士事務所

公認会計士

田中 秀夫 

<財務諸表監査>

私たちは、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 23 条の規定に基づき、公益財団法人新国立劇場運営財団の平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までの事業年度の貸借対照表及び損益計算書（公益認定等ガイドライン I-5 (1) の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）並びにその附属明細書並びにキャッシュ・フロー計算書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

私たちの責任は、私たちが実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私たちに財務諸表等に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、私たちの判断により、不正又は誤謬による財務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、

内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私たちは、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

私たちは、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

<財産目録に対する意見>

私たちは、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 23 条の規定に基づき、公益財団法人新国立劇場運営財団の平成 26 年 3 月 31 日現在の事業年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

財産目録に対する理事者の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監査人の責任

私たちの責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

財産目録に対する監査意見

私たちは、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

利害関係

公益財団法人新国立劇場運営財団と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

監 査 報 告 書

平成 26 年 5 月 29 日

公益財団法人 新国立劇場運営財団
理事長 福 地 茂 雄 殿

監事 田 原 昭 三 

監事 中 野 敬 久 

私たち監事は、当財団の平成 25 年度（自平成 25 年 4 月 1 日至平成 26 年 3 月 31 日）に係る事業報告、計算書類及び各附属明細書並びに財産目録に係る監査を行いましたので、以下の通り報告します。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事会その他の重要な会議に出席するほか、理事等から事業の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するとともに、会計監査人と連携し計算書類について検討するなど、必要と思われる監査手続きを実施しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

- ① 会計監査人の監査の方法及び結果は、相当であると認めます。
- ② 会計監査人の職務の遂行が適正に実施されることを確保するための体制については、会計監査人よりの通知のとおり適切であると認めます。

以 上